大仏づくりに集められた人と物

聖武天皇は、なぜ大仏をつくろうとしたのか。全国からどんな人と物が集められたのか。

そのころの世の中

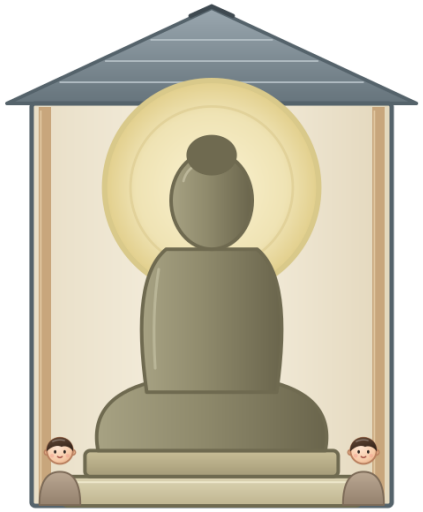
- 病気の流行
  多くの人が亡くなる
- ききん
  食べ物が足りなくなる
- 争い
  九州で反乱がおこる

↓ 不安が広がる

聖武天皇の願い

仏教の力で、人々の
不安をしずめ、国を
安らかに治めたい

★ 奈良の都（平城京）



東大寺の大仏（模式の絵）

銅を流しこんでつくり、
表面を金でおおう

人と大仏の大きさの比は模式



743年
大仏をつくることを
天皇が命じる

→

全国から人と物を集める
行基が人々に協力を
よびかける

→

752年
大仏の完成を祝う式
（開眼）

→

**天皇を中心とする
政治が、都だけでなく
全国に及ぶ**

※ 大仏と建物は特定のものの復元ではない模式。地図は本州・四国・九州のあたりの今の海岸線で、矢印は道すじではない。